

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素よりJR東日本グループの経営に一方ならぬご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

当社グループは、発足以降、「鉄道の再生・復権」に取り組んでまいりました。関係するすべての皆さまのご支援により、鉄道をはじめ、生活サービス、IT・Suicaなど、グループ全般としての地力がついてきたと感じています。

私たちは引き続き、安全を経営のトッププライオリティに位置づけ、「究極の安全」を追求していきます。その上で、環境 (Environment)、社会 (Social) および企業統治 (Governance) の観点から成る「ESG経営」を実践し、事業を通じて社会的課題の解決に取り組み、地域社会の持続的な発展に貢献していきます。これらの取組みを通じ、グループのあらゆる活動の基盤である、お客さまや地域の皆さまからの「信頼」をさらに高めていきます。

一方、さらなる人口減少や自動運転の実用化など、経営環境は急激に変化しており、これまでの延長線で発想・行動しては、変化に適応できません。

これらの変化を先取りしていくため、グループ経営ビジョン「変革 2027」のもと、「鉄道を起点としたサービス提供」から「ヒト(すべての人)を起点とした価値・サービスの創造」へと「価値創造ストーリー」を転換し、新たな成長戦略を果敢に推進していきます。

私たちの強みは、社会インフラを支える重層的で“リアル”なネットワークと、その交流拠点となる駅等を持っていることです。技術と情報を中心にネットワークの力を高め、お客さまや地域の皆さまの「心豊かな生活」を実現していく決意です。そして、新たな時代を見据え、変化をチャンスと捉えて挑戦を続けることにより、これからもお客さまや地域の皆さまのご期待に応えるとともに、地域社会の発展に貢献する企業グループとして持続的な成長を実現していきます。

株主還元につきましては、安定的な増配に加え、自己株式の取得を柔軟に進め、総還元性向40%、配当性向30%を中長期的にめざしていきます。当期の中間配当につきましては、前期末に実施いたしました普通配当70円に5円を加え、一株につき75円といたしました。

株主の皆さまにおかれましては、当社グループの経営につきまして、何とぞ一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年11月

代表取締役社長

深澤祐二

